

# 避難所学習から育む、 地震に強い街づくり

三浦市教育委員会学校教育課

益田孝彦

三浦市立初声中学校 小清水宣雄

# チャレンジプランであげた成果

< 三浦市の学校防災計画を整備する視点で >

- 教職員一人ひとりに周知できるきっかけ
- 危機管理課と足並みをそろえた防災準備
- 避難所運営委員会を各学校で開く道筋
- 成果物の作成を行うことができた
- 成果を還元できる波及効果の高い実践

# チャレンジプランであげた成果2

< 避難所カリキュラムの質を向上させる視点で >

- 本市の防災教育をユネスコの国際会議で紹介

# チャレンジプランであげた成果3

< 初声中学校が総合的な学習の時間で「避難所学習」に取り組んだことについての視点で >

- 具体的に避難所学習を展開できた
- 初声中学校の生徒が防災教育に取り組めた
- 外部講師の活用
- 自覚をもった若い世代の育成

# 成果物

< 三浦市の学校防災計画を整備する視点で >

- 三浦市学校防災計画～大地震に備えて～  
(印刷部数 500部)

< 研究自体の成果として >

- 初声中学校生徒レイアウト作品(初声中学校校内印刷)
- 三浦市教育委員会チャレンジプラン実施成果報告(印刷部数 160部)

# 感想、反省、課題1

< 三浦市の学校防災計画を整備する視点で >

- 危機管理課との一体感のある活動
- 「大震災に備えて」を市内全職員に周知

## 感想、反省、課題2

< 初声中学校が総合的な学習の時間で「避難所学習」に取り組んだことについての視点で >

- カリキュラムの提案は簡単ではない  
現実的な避難所レイアウトと整合性がない  
成果物が実効性のあるものになるのは数年先

## 感想、反省、課題3

< 従来の防災学習に加え新たに総合的な学習の時間に防災教育を推進する視点から >

- 総合的な学習スタイルの中に防災教育が入り込める隙間は少ない
- 「防災教育」の必要性が十分に認められ、教育課程の中での教育活動として位置づいていくことが必要

## 感想、反省、課題4

- < 避難所学習カリキュラムの質的向上をはかる視点で >

外部講師の活用がより効果的  
DVD資料等は非常に価値のある  
作品

# 感想、反省、課題5

回答日：平成19年2月7日 100名

	質問項目	5	4	3	2	1	平均
1	避難所の計画は必要だと思う	66	28	5	1	0	4.6
2	避難所学習は興味を持ってできた	13	43	34	9	1	3.6
3	避難所学習に取り組んで良かった	31	43	20	5	1	4.0
4	大地震への理解が深まった	44	42	11	3	0	4.3
5	避難所への理解が深まった	39	43	15	3	0	4.2
6	避難所学習の講演会は良かった	38	42	17	2	1	4.1
7	満足のいくプランが作れたと思う	11	42	36	10	1	3.5
8	プレゼンタを扱えるようになった	17	32	44	5	2	3.6

# 外部講師の活躍

避難所学習の講演会は良かった

➤ 5 は 3 8 人

➤ 4 は 4 2 人 評価 4 . 1

# 初声中の取り組み 講演会1

避難所についての

講演会より

# 初声中の取り組み 講演会2

“避難所とペットのあり方”

講演会より

# 避難所学習への評価

➤ 避難所学習に取り組んで良かった

5は31人

4は42人 評価 4.0

➤ 避難所への理解が深まった

5は39人

4は43人 評価 4.2

# 学習の必要性は認識された！

➤ 避難所の計画は必要だと思う

5が66人

4が28人

3が5人

2が1人

評価 4.6

## 最後に

- 昨日の学年発表会で選ばれた今年度の最優秀レイアウトを紹介します。また初声中小清水先生にコメントしていただきます。
- ご支援いただいた防災教育チャレンジプラン実行委員会様はじめ、ご協力いただいた方々に深く感謝申し上げます。